

# 地域を動かす高齢者パワー



現在、市内で84クラブ、会員約5,200人が老人クラブで活動し、地域コミュニケーションの形成に重要な役割を果たしています。いろいろな活動を通して、高齢者が長年培ってこられた知識や経験を地域のパワーに代えて、明るい長寿社会づくりに役立っているのです。

老人会は、さまざまな活動で地域の行事や催しに積極的に参加し、その役割を十分に発揮されています。いわば、地域を動かしていると言っても過言ではありません。長年培ってきた知識や経験をフル活用して、明るく元気に老後の生活を楽しみながら、地域にも還元していく活動を行っている老人クラブ。その取り組みを紹介します。

老人クラブの活動は、大きく分けて2つあります。町内会などと連携し積極的に参加する「地域を豊かにする社会活動」と、自らの生きがいを高める「生活を豊かにする活動」です。この2つの活動を通じて、地域に密接に関わり合いながら活動を行っています。

大村市老人クラブ連合会では、「老後の幸せを老人自身で創り出そう」のスローガンのもとと高齢者の閉じこもりや孤立を防ぐための仲間づくりや、子どもたちの見守り、世代交流、地域の防犯パトロール、清掃活動など、幅広く活躍されています。地域における支え合い活動は、住民共助の取り組みとして、高く評価されます。

## 大村市老人クラブ連合会(市老連) 主な活動内容

- 4月 定期総会
- 5月 市老連スポーツ大会
- 6月 体力測定、囲碁大会
- 7月 ゲートボール大会
- 8月 若手リーダー研修
- 9月 老人週間、一斉社会奉仕活動
- 10月 グラウンド・ゴルフ団体戦、市老連福祉大会
- 11月 わのわリング大会、作品展
- 1月 女性リーダー研修
- 2月 グラウンド・ゴルフ個人戦

## 地域を豊かにする社会活動

- 友愛活動、ボランティア活動、社会奉仕
- 伝承活動、世代交流
- 作業・生産、環境美化活動など

## 生活を豊かにする活動

- 健康づくり、シニアスポーツ
- 趣味・文化・レクリエーション
- 学習活動、研修会など

市では、4人に1人が高齢者です。高齢者の数は増えています。高齢者の加入者は残念ながら減っています。高齢者のニーズも多様化し、趣味や活動内容も多様化している。そんな時代だからこそ、元気に楽しく、地域にパワーを与えながら老人クラブの活動は続きます。



大村市老人クラブ連合会  
会長 島中 英安さん

会長に今年就任したばかりですが、責任の重大さを実感しています。しかし、役員の方々は協力的で良くまとまっているので、非常に感謝しています。

高齢者にとって健康は最大の関心事です。市老連では、健康感の普及を図りながら、体力づくりや介護予防の学習、実践活動に取り組んでいるところです。

個人の価値観が多様化した今日、時代のニーズに対応できる多種・多様の活動メニューが求められています。二歩踏み出す柔軟な感覚を持つことが大切だと考えています。今は、若手リーダーの養成が急務で、若手の新しい考え、技術、行動力が今後の老人クラブの運営に活かされることを期待し、活動促進に取り組んでいきます。

健康で活動できる「健康寿命」を大切に、今後の市老連の活動を盛り上げていくことが私の責務だと考えています。

## 協和会の活動に対し全国表彰

10月30日、奈良県で開催された「第38回国老人クラブ大会」で、市内の老人クラブ「協和会」が、その活発な活動が認められ「優良老人クラブ」として表彰されました。その活動内容をご紹介します。

### 地域に密接した活動

「協和会」は、協和町町内会を中心に組織された、単位老人クラブです。地域や町内会と密接に連携をとりながら積極的に活動を行われています。特に三世代交流行事に力を入れており、少しでも自然に触れ合ってもらおうと手作りの七夕や門松作り、バーベキュー大会などを開催し、町内会の皆さんにも大好評です。

毎月定例会を開き、「協和会だより」を発行。会員はもとより、町内会および近隣のクラブに配布。活動の現況報告や情報発信に努めています。特に老人の独居世帯には、配布しながら声をかけてコミュニケーションを図られています。また、グラウンド・ゴルフや踊り、生け花など、それぞれの大会に向けて、仲間と楽しくけいこしています。誇るべきボランティア活動として、アイバンク登録を会員に推進しています。自分の死後、角膜を提供し、人助

### 老人クラブ「協和会」

会長：山口鷹士さん(74歳)  
会員数：男性26人(平均年齢73歳)  
          女性30人(平均年齢74歳)  
最高齢：93歳  
設立：昭和47年4月

今年の七夕会



けができるほとんどの会員が理解を示し登録されています。

また、ユニークな活動としては、男性が料理を作り女性をもてなす食事で、健康講座などで培った知識を活かして腕を奮います。こんな「思いやり」が、全国表彰につながったのではないのでしょうか。

今後も地域づくりのお手本として同会の活動には目を離せません。

## INTERVIEW

めざすは、

「後期」ではなく「光輝」高齢者



会長  
山口鷹士さん

いつも明るく元気な老人会を目指して活動が認められています。その活動が認められて本当にうれいす。最近、町内会の青年会や婦人会が無くなってきています。これからは我々、老人会の時代です。「後期」ではなく、「光輝」高齢者をめざして活動し、「老人会が楽しいから公民館に集まる」ような仲間づくりを続けていきます。

### 住み慣れた協和町が大好きです



女性部長  
横山タツ子さん

会長がしっかりといらつしやるから、楽しくお世話させていただいています。人柄が人を呼ぶんです。協力したい気持ちになります。これからも、健康に注意しながら、地域に根ざした活動を続け、住み慣れた大好きな協和町に恩返しができるばと思っています。